

2018 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きには使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の文章〔A〕および史料〔B〕（原文から漢字や仮名づかい、句読点を加える等適宜修正している）を読み、下記の設問に答えなさい。なお、解答に当たっては、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記入し、適宜、記述解答用紙またはマーク解答用紙を用いなさい。（20点）

〔A〕

1185年、源頼朝が武家政権の鎌倉幕府を確立し、1333年までつづく鎌倉時代がはじまった。鎌倉殿と呼ばれた頼朝は、御家人らを統制して幕府の運営を担い、1192年には征夷大將軍に任じられた。また、頼朝は御家人から厚く信頼されていたため、幕府政治は安定していた。その頼朝が1199年に没すると、將軍職は頼朝の実子であった頼家、実朝に引き継がれたが、いずれも暗殺されて源氏の正統は断絶し、実朝没後には朝幕関係が悪化し、1221年に承久の乱がおこった。

承久の乱では、源頼朝の夫人であった政子の力もあり、幕府側が大軍を京都に送り、倒幕をはかった後鳥羽上皇側の勢力を圧倒して戦いに勝利し、後鳥羽上皇をはじめ上皇側の人びとを処分した。そして、幕府では、北条氏を中心に機構などが整備されて執権政治が確立し、幕府政治は安定するようになったが、5代執権の の頃になると北条氏の力が強まり、執権政治に変化が見られるようになった。

その後、8代執権の北条時宗の時代になると、幕府は蒙古襲来による対外的な危機に対処し、一方で、幕府はこの対処を通じて政治力を強化した。時宗は、弘安の役の後、しばらくして没し、その後若くして9代執権となったのが時宗の実子の であった。この の頃になると、北条氏のなかでも得宗家の力が一段と強まり、得宗家による専制的な幕府政治が行われるようになった。

問1 下線部①の時代に活動した僧侶についての記述として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 法然は専修念仏を唱え、『性霊集』を著した。
- イ 親鸞は悪人正機説を唱え、『歎異抄』を著した。
- ウ 栄西は宋から日本に禅宗を伝え、『正法眼蔵』を著した。
- エ 道元は只管打坐を唱え、『興禅護国論』を著した。
- オ 日蓮は法華経を釈迦の正しい教えと唱え、『立正安国論』を著した。

問2 下線部②に関する記述として誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 鎌倉時代末期になると所領の単独相続が行われるようになった。
- イ 女性が地頭に任命されることや、所領の相続をすることもあった。
- ウ 惣領は庶子をとりまとめ、一族を代表した。
- エ 守るべき道徳は武士道と呼ばれ、武士道を論じた『聖教要録』が記された。
- オ 武芸の訓練として、流鏑馬、笠懸や巻狩などが行われた。

問3 下線部③の後に補任された地頭のうち、一定の条件に該当する地頭に適用される、関東御教書によって定められた11町につき1町の給免田などの得分の基準を何といったか。その名称を記しなさい。

問4 下線部④の政治が行われた時期におこった次の出来事 a～e について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下のア～オから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 後嵯峨上皇の皇子であった宗尊親王が鎌倉幕府の将軍となった。
- b 重要政務などを合議する評定衆という役職が設けられた。
- c 有力な御家人であった三浦泰村が滅ぼされた。
- d 御成敗式目が鎌倉幕府の基本法として定められた。
- e 摂関家出身の九条頼経が鎌倉幕府の将軍となった。

- ア a→b→c→d→e
- イ b→e→d→c→a
- ウ c→a→e→b→d
- エ d→c→b→e→a
- オ e→d→c→a→b

問5 空欄 に当てはまる名前（姓名を記すこと）を記しなさい。

問6 下線部⑤に関する次の記述 a～e について、正しい記述を組み合わせたものを、下のア～オから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 朝廷は、幕府が本所一円地の武士を異国警固番役に動員することを認めた。
- b 『蒙古襲来絵巻』には、肥後の御家人竹崎季長が描かれている。
- c 弘安の役では、朝鮮半島から元・高麗の軍が九州南部に襲来した。
- d 文永の役では、朝鮮半島と江南から元などの軍が九州北部に襲来した。
- e 南宋が滅んだ後も、中国では三別抄が元への抵抗をしばらく続けた。

- ア a b
- イ a e
- ウ c b
- エ c d
- オ d e

問7 空欄 に当てはまる名前（姓名を記すこと）を記しなさい。

〔B〕史料

九月 日、^{いつてんか}「天下の^{どみんほうき}士民蜂起す。 と号し、酒屋、、寺院等を
破却せしめ、^{ざうもつ}雑物等^{ほしいま}恣にこれを取り、^{しやくせん}借錢等^{ことごと}悉くこれを破る。管領これを成
敗す。凡そ亡国の基、これに過ぐべからず。日本開白以来、士民蜂起是れ初めなり。

問8 史料は室町時代に記されたものである。空欄 に当てはまる法令に関
する語句を、空欄 に当てはまる金融業者を示す語句を、それぞれ漢字
2字で記しなさい。

問9 史料が記された室町時代には見られなかったものを1つ選び、その記号をマー
クしなさい。

- ア 入会地
- イ 下肥
- ウ 三毛作
- エ 大唐米
- オ 千歯扱

II 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。なお、解答に当たっては、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記入し、適宜、記述解答用紙またはマーク解答用紙を用いなさい。(30点)

江戸時代の治世においては、側用人や老中などが大きな役割をになった。幼少で將軍となった4代將軍家綱を当初補佐したのは、家光の異母弟らの老臣であった。

家綱の死去によって、5代將軍となった綱吉は、 1 を大老に任じて改革を実施したが、 1 が暗殺された後は、側用人を登用するようになった。綱吉の死後、甥の家宣が6代將軍となり、その後家宣の子である家継が幼少で7代將軍となった。^③この時代は、元禄期の幕政を修復し、新しい小判発行や貿易制限を行った。

8代將軍となったのは、紀伊藩の藩主であった吉宗であった。1772年に10代將軍家治の側用人から老中になった 2 は、年貢依存体質を改め、商工業者から運上や冥加を上納させたが、賄賂の横行によって批判を浴びた。また、天明期には、火山の大噴火や飢饉が発生したこともあり、権勢は衰え、失脚した。

11代將軍に家斉が就任し、陸奥白河藩主が老中首座に抜擢され、吉宗の改革を参考にした改革が行われた。^⑦

家斉が死去すると、12代將軍家慶のもとで老中首座となった 3 は、幕政の改革に取り組むこととなった。1843年、江戸・太坂周辺に直轄地を集めるための法令をだしたが、激しい反対を受けて失脚した。

^⑧1843年に老中、1845年に老中首座となったのは、 4 であった。 4 は、家慶と家定の2人の將軍に仕え、前水戸藩主 5 を幕政に参画させたり、国防強化のため、江戸湾に台場を築くなどの改革を実施した。^⑩

問1 空欄 1 ～ 5 に入るもっとも適切な名前(姓名を記すこと)を解答欄に記入しなさい。

問2 下線部①の名前を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 前田綱紀
- イ 林信篤
- ウ 酒井忠徳
- エ 飯田忠彦
- オ 保科正之

問3 下線部②に関連して、綱吉がとくに重く用いた側用人の名前を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 新井白石
- イ 依屋宗達
- ウ 大岡忠相
- エ 池田光政
- オ 柳沢吉保

問4 下線部③に関連して、家宣、家継時代に実権をにぎった側用人の名前を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 間部詮房
- イ 荻原重秀
- ウ 安藤信正
- エ 酒井忠清
- オ 前田綱紀

問5 下線部④の施策が行われた政治の名称を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 正徳の政治
- イ 元和假武
- ウ 武断政治
- エ 大御所政治
- オ 織豊政権

問6 下線部⑤に関連して、吉宗が行った改革名を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 天保の改革
- イ 安政の改革
- ウ 享保の改革
- エ 文久の改革
- オ 寛政の改革

問7 下線部⑥に関連して、大噴火した火山名を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 富士山
- イ 阿蘇山
- ウ 桜島
- エ 浅間山
- オ 有珠山

問8 下線部⑦の名前を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 松平忠直
- イ 松平定信
- ウ 松平信綱
- エ 松平広忠
- オ 松平慶永

問9 下線部⑧に関連して、家斉の時代に行われた改革ではないものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 寛政異学の禁
- イ 上げ米
- ウ 七分積立
- エ 恋川春町や山東京伝らの処罰
- オ 旧里帰農令

問10 下線部⑨の名称を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 半済令
- イ 上知令
- ウ 人返し令
- エ 棄捐令
- オ 旧里帰農令

問11 下線部⑩の名称を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 天保の改革
- イ 安政の改革
- ウ 享保の改革
- エ 文久の改革
- オ 慶応の改革

Ⅲ 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。なお、解答に当たっては、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記入し、適宜、記述解答用紙またはマーク解答用紙を用いなさい。(30点)

第一次世界大戦の勃発は、それまでの日本経済の最大の懸案であった国際収支問題を解決に導いた。主たる戦場から遠く離れた日本では、貿易の面で多くの利益を得ることができたからである。^①

貿易の拡大は、商社ブームを引き起こした。たとえば、居留地が設けられていた時期に砂糖商として神戸で出発した小さな商社も、大戦期には総合商社化し、「此戦乱の変遷を利用し大儲けを為し三井三菱を圧倒する乎、然らざるも彼等と並んで天下を三分する乎、是 全員の理想とする所也」(金子直吉「天下三分の宣誓書」と宣言し、実際に、1917年には売上高で三井物産を上回ることとなる。^③

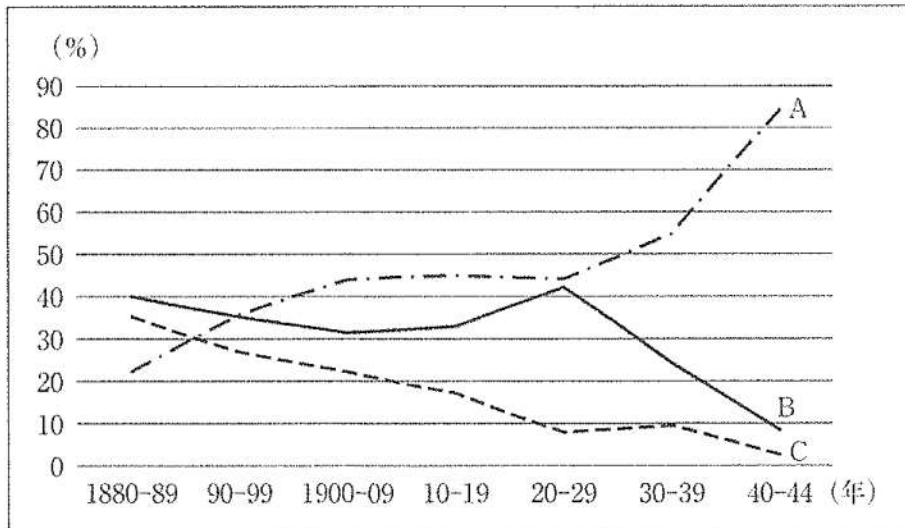
また、大戦による船舶不足は海運業・造船業を潤し、いわゆる「船成金」が続々と生まれることとなった。だが、大戦ブームは多くの成金を生む一方、国内物価の上昇は、労働者や小作農民らの生活を苦しくさせることとなった。1918年夏に、 県の一漁村から全国へと広がった米騒動が起こったのには、こうした背景があった。

他方、大戦の長期化によって、交戦諸国が中国問題に介入する余力がないことを利用して、日本は1915年1月、中国の袁世凱政府に、いわゆる「二十一条の要求」を突き付けた。こうした日本の動きに対して、当時のアメリカ大統領の態度は硬化していたが、アメリカが第一次世界大戦への参戦を決めると、日本への態度を和らげ、1917年に協定を結んで、中国における日本の「特殊権益」を認めることとした。^⑦

1918年11月、第一次世界大戦の休戦が成立すると、翌年1月から始まった では、日本が山東省の旧ドイツ権益を継承することなどが決められた。他方、この結果に不満を抱いた北京の大学生を中心に起こった抗日運動は、中国全土に広がっていくこととなる。^⑧^⑨

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問2 下線部①に関連して、次の図は、アジア、ヨーロッパ、北アメリカの3つの地域に対する日本からの輸出額のシェアの推移を示したものである。図中のA～Cとその地域名との組み合わせとして正しいものを、下のア～カから1つ選び、その記号をマークしなさい。



出所) 三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧』より作成。

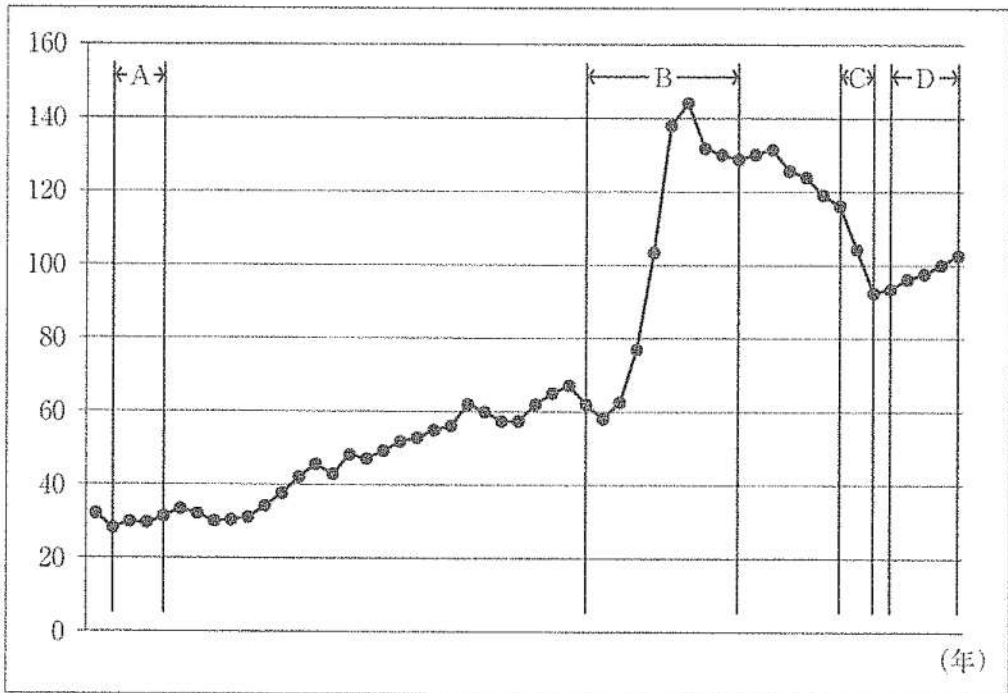
- | | | | |
|---|---------|---------|---------|
| ア | A—北アメリカ | B—ヨーロッパ | C—アジア |
| イ | A—北アメリカ | B—アジア | C—ヨーロッパ |
| ウ | A—ヨーロッパ | B—北アメリカ | C—アジア |
| エ | A—ヨーロッパ | B—アジア | C—北アメリカ |
| オ | A—アジア | B—北アメリカ | C—ヨーロッパ |
| カ | A—アジア | B—ヨーロッパ | C—北アメリカ |

問3 下線部②に関連して、横浜や神戸などの居留地で外国人貿易商から輸入品を買い取り、日本国内で販売するという取引を担ったこの時期の商人のことを、とくに何というか。もっとも適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問4 下線部③に関連して、明治期に三井に払い下げられた官営事業としてもっとも適切なものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 高島炭鉱
- イ 長崎造船所
- ウ 富岡製糸場
- エ 佐渡金山
- オ 深川セメント製造所

問5 下線部④に関連して、次の図は、中央大学の前身である英吉利法律学校が設立された年から、2.26事件が発生した年までの物価の動きを示したものである。図中のA～Dの時期の出来事の説明として正しいものをそれぞれ1つずつ選び、その記号をマークしなさい。



注) ここでの物価は、1934～36年=100とした消費者物価指数。

出所) 三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧』より作成。

【Aの時期】

- ア 日清戦争が始まった。
- イ 日本銀行の営業が始まった。
- ウ 企業勃興が起こった。
- エ 明治十四年の政変が起こった。
- オ 内村鑑三不敬事件が起こった。

【Bの時期】

- ア 物価の上昇は、輸入の急増を引き起こして貿易赤字を増やしたが、物価の上昇が収まると、貿易黒字に転じた。
- イ 物価の上昇は、それまでの日本経済の最大の問題である、国際収支問題を解決し、対外債務の急増をもたらした。
- ウ 物価の上昇は、庶民の生活を直撃し、庶民が「ええじゃないか」と連呼して集団で乱舞し、京阪一帯では無政府状態となった。
- エ 物価の上昇は、賃金の上昇をもたらしたので、多くの企業倒産を招き、会社数は減少基調であった。
- オ 物価の上昇は、賃金の上昇をもたらしたので、紡績業では、中国への工場進出が促された。

【Cの時期】

- ア 井上準之助蔵相は、新平価で、金解禁を行った。
- イ 高橋是清蔵相は、旧平価で、金解禁を行った。
- ウ 若槻礼次郎内閣は、時局匡救事業費を新設して、公共土木事業で景気回復を図ろうとした。
- エ 浜口雄幸内閣は、産業合理化による生産費の引き下げで、輸出の促進を図ろうとした。
- オ 犬養毅内閣は、積極財政による物価引き上げで、輸入の促進を図ろうとした。

【Dの時期】

- ア 大幅増税を財源とした、財政支出拡大による景気回復が目指された。
- イ 軍事費の急増も背景として、『国防の本義と其強化の提唱』、いわゆる陸軍パンフレットが配布されるなど、陸軍の政治介入が強まった。
- ウ 美濃部達吉の天皇機関説が問題視され、広田弘毅内閣により、二度にわたって、国体明徴声明が出された。
- エ 陸軍統制派の青年将校が、斎藤実や高橋是清を暗殺した。
- オ 物価の上昇を利用して円の価値を高め、輸出を増やすことによる景気回復が目指された。

問6 下線部⑤を突き付けた内閣の総理大臣は誰か。該当する名前を1つ選び、その記号をマークしなさい。

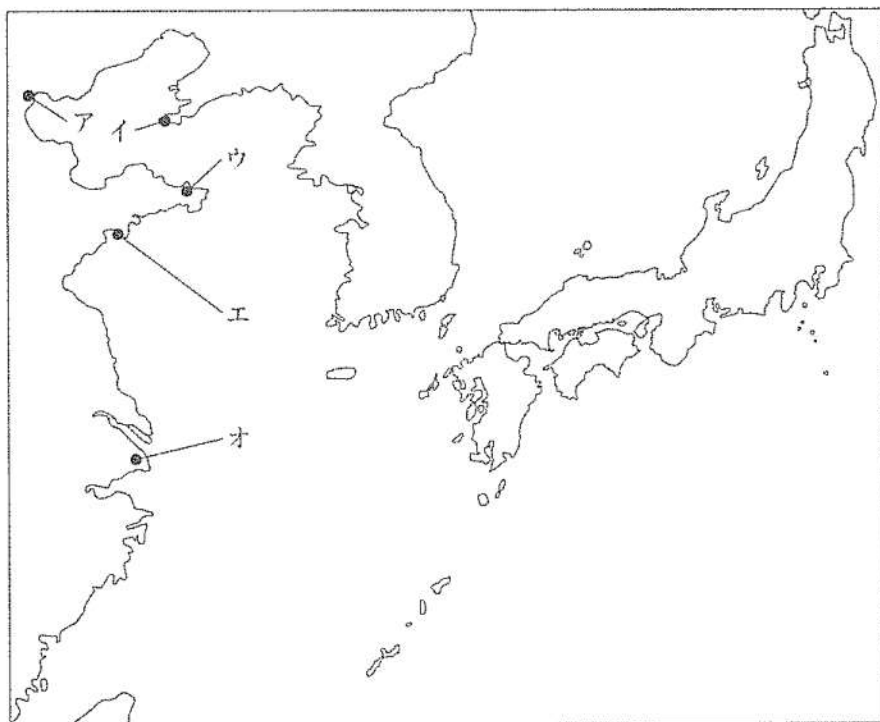
- ア 西園寺公望
- イ 桂太郎
- ウ 山本権兵衛
- エ 大隈重信
- オ 寺内正毅

問7 下線部⑥の名前を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア ウィルソン
- イ セオドア・ローズヴェルト
- ウ トルーマン
- エ ハーディング
- オ フィルモア

問8 下線部⑦を結んだ、日本側の特派大使の名前（姓名を記すこと）を解答欄に記入しなさい。

問9 下線部⑧となっていた都市はどこか。該当する地図上の場所を1つ選び、その記号をマークしなさい。



問10 下線部⑨を何というか。もっとも適切な名称を解答欄に記入しなさい。

Ⅳ 次の文章とあとに続く史料〔A〕～〔E〕（原文から漢字や仮名づかい、句読点を加える等適宜修正している）を読み、下記の設問に答えなさい。なお、解答に当たっては、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記入し、適宜、記述解答用紙またはマーク解答用紙を用いなさい。（20点）

1945年にGHQから憲法改正を指示された 内閣は、憲法問題調査委員会を設置し試案を作成させたが、これは天皇の統治権を認める保守的なものであった。そこでGHQは、いわゆるマッカーサー草案を作成、これをもとにして政府案が作成され、さらに議会で追加・修正がなされ、日本国憲法として公布された。

当初アメリカは日本の非軍事化・民主化を目指したが、^①世界情勢の変化を背景にして政策を転換していった。その結果、「陸海空軍その他の は、これを保持しない」とした憲法のもとで、早くも1950年には、GHQの指令によって、 が創設された。また、下記史料のような条約も結ばれることとなった。

史料

〔A〕 各締約国は、日本国の施政の下にある領域における、いずれか一方に対する武力攻撃が、自国の平和及び安全を危うくするものであることを認め、自国の憲法上の規定及び手続に従って共通の危険に対処するように行動することを宣言する。

〔B〕 平和条約及びこの条約の効力発生と同時に、アメリカ合衆国の陸軍、空軍及び海軍を^③日本国内及びその附近に配備する権利を、日本国は許与し、アメリカ合衆国はこれを受諾する。

〔C〕 締約国は、個別的に及び相互に協力して、継続的かつ効果的な自助及び相互援助により、武力攻撃に抵抗するそれぞれの能力を、憲法上の規定に従うことを条件として、維持し発展させる。

〔D〕 この軍隊は、極東における国際の平和と安全の維持に寄与し、並びに、一又は二以上の外部の国による教唆又は干渉によって引き起された日本国における大規模の内乱及び騒じょうを鎮圧するため、日本国政府の明示の要請に応じて与えられる援助を含めて、外部からの武力攻撃に対する日本国の安全に寄与するために使用することができる。

〔E〕 日本国の安全に寄与し、並びに極東における国際の平和及び安全の維持に寄与するため、アメリカ合衆国は、その陸軍、空軍及び海軍が日本国において施設及び区域を使用することを許される。

前記の施設及び区域の使用並びに日本国における合衆国軍隊の地位は、千九百五十二年二月二十八日に東京で署名された日本国とアメリカ合衆国との間の安全保障条約第三条に基づく (改正を含む。) に代わる別個の協定及び合意される他の取極により規律される。

問1 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語句、人名(姓名を記すこと)を解答欄に記入しなさい。ただし、 は漢字4文字で記入すること。

問2 下線部①の年月日(西暦)を、解答欄に記入しなさい。

問3 下線部②に関連して、以下の出来事をそれが起きた順に並べたとき、4番目にくるのはどれか。その記号をマークしなさい。

- | | |
|--------------------|----------------|
| ア NATOの結成 | イ ワルシャワ条約機構の結成 |
| ウ 「トルーマン＝ドクトリン」の宣言 | エ マーシャルプランの発表 |
| オ 朝鮮戦争の開戦 | |

問4 下線部③に調印した日本の内閣総理大臣は誰か。正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 東久邇宮稔彦 イ 吉田茂 ウ 芦田均
エ 鳩山一郎 オ 岸信介

問5 下線部③に調印しなかった国を過不足なく選び、その記号をマークしなさい。

- ア ソ連 イ 中華人民共和国 ウ 中華民国
エ 大韓民国 オ イギリス

問6 史料〔A〕～〔E〕についての記述として誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 史料〔A〕は、アメリカの日本防衛義務を明示し、また日米共同作戦行動をとることを明示している。
イ 史料〔B〕は、アメリカ軍の日本への駐留を認めている。
ウ 史料〔C〕は、日本の防衛能力を認めるとともに、その増強を義務づけている。
エ 史料〔D〕は、日本の国内問題へのアメリカ軍の介入を認め、アメリカの日本防衛義務を明示している。
オ 史料〔E〕に基づく付属文書では、アメリカ軍の極東での軍事行動などについての事前協議が定められている。

問7 史料〔A〕～〔E〕は調印の年によって2つのグループに分けられる。調印の年が古い方に含まれる史料を過不足なく選び、その記号をマークしなさい。

